

すかんぽによせて

【作詞】国鉄長野歌う会・長野合唱団
【作曲】木下 せんき

02

すかんぽなずなの咲く土手で
あなたの動かす汽車を待つ
鉄道勤めとすすめられ
嫁いできたのは はたちの春
□□

油に汚れた作業衣の
あなたの汗もかな錆も
きれいに洗ってたたみます
あしたも笑顔で働けるよう

吹雪の荒れる冬の夜は
窓を震わす汽笛の音に
思わず手を止め祈ります
どうか事故が起ころぬよう

こんなささやかな所帯でも
暮らしの足を守る仕事
子ども心に決めている
父さんのあと継ぐのだと

焼けつく陽射しの夏の日も
雨風すさぶ嵐にも
負けずに元気に勤めあげ
二人でいつか旅したい
二人でいつか・・・

すかんぽによせて

【作詞】国鉄長野歌う会・長野合唱団
【作曲】木下 そんき

すかんぽんなずなの咲く土手で
あなたの動かす汽車を待つ
鉄道勤めとすすめられ
嫁いできたのは はたちの春

□■

油に汚れた作業衣の
あなたの汗もかな錆も
きれいに洗ってたたみます
あしたも笑顔で働けるよう

吹雪の荒れる冬の夜は
窓を震わす汽笛の音に
思わず手を止め祈ります
どうか事故が起こらぬよう

すかんぽにようせて

【作詞】国鉄長野歌う会・長野合唱団
【作曲】木下 そんき

22

■ ■
こんなさやさやかな所帯でも
暮らしの足を守る仕事
子ども心に決めている
父さんのあと継ぐのだと

焼けつく陽射しの夏の日も
雨風すさぶ嵐にも
負けずに元気に勤めあげ
二人でいつか旅したい
二人でいつか・・・

End



すかんぽ(噛むとすっぱい)